

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 久御山町

プロジェクト名	健康で心豊かなやすらぎのまちづくりプロジェクト		実施期間	平成29年度～令和3年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続（一部新規を含む）
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>近年の少子高齢化社会に伴い、地域連携の希薄化や独居世帯の増加により、子育てや高齢者の生活に不安や孤独感が広がっており、現在において子どもや高齢者の取り巻く環境が変化している。</p> <p>そのためにも、誰もが住み慣れた「くみやま」で、健康で心豊かなやすらぎを実感し、住み続けたいまちをつくるためにも、子育て支援体制の構築を図るとともに、高齢者が健康で自立した生活を維持できる取り組みが必要不可欠である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>少子化対策として、若い世代の子育ての不安を少しでも解消するためにも、子育て支援全体の総合的な取り組みを推進することを目指す。また、高齢者福祉においては、包括的な介護サービスの充実とあわせて、本町は公共交通をバスに依存している点から、高齢者が住み慣れたまちで安らぎを実感するためにも、公共交通の充実を図るとともに、高齢者が生きがいを持ち快適な生活ができるよう推進していくこととする。さらに、若い世代から高齢者までがスポーツ等を通じて交流・親睦を図ることができるような取り組みを行う。また、住民の健康・食に関する統計資料の分析や健康づくりに関する住民アンケート調査を実施し、健康づくりへの取り組みが向上することにより、健康寿命の延伸を図る。</p>							
	総事業費（千円）	148,443	本年度事業費（千円）	26,713	交付金額（千円）	5,079		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	子育て支援推進事業	交付対象事業	安心して子育てができる環境づくりや支援を行うため、「町子ども・子育て支援プラン」に基づき、子育て支援に関する総合的な推進を行った。また、次期「子ども・子育て支援プラン」策定に向けた基礎調査を行った。			子ども子育て会議の開催：3回		
	絆見守りネットワーク推進事業	交付対象事業	住民が安心して生活できるように「絆ネットコーディネーター」を配置し、高齢者見守り・子ども見守り・防犯見守りの各見守りネットワークとの連携をコーディネートするとともに、関係機関との連携を図りつつ、さらなる安定的な見守り体制の構築を図るため、本事業を実施する町社会福祉協議会に対して補助を行った。			補助総額：3,164千円		
	高齢者自立支援事業	交付対象事業	住み慣れた地域で自立して生活ができるようにするため、在宅ひとり暮らしの高齢者等を対象に、緊急時在宅高齢者あんしん事業（シルバーホン設置）などを行った。また、高齢者あんしんガイドを作成し、町が実施する福祉サービス等についての周知を図った。			シルバーホン設置者数：149人 認知症カフェの開催：26回・480人（延べ参加者数）		
	高齢者生活支援事業	交付対象事業	介護が必要な高齢者の在宅介護を支援するため、介護保険サービスの他に、高齢者生活支援や在宅高齢者おむつ等支給、寝具類洗濯乾燥消毒サービスなどを行った。また、虚弱な高齢者が寝たきりにならないようにするため、地域の集会所等を利用したミニデイサービスを町社会福祉協議会に委託して実施した。			ミニデイサービス利用者数：1,915人（延べ利用者数） 寝具類洗濯乾燥消毒サービス利用者数：66人（延べ利用者数） 在宅高齢者おむつ等支給利用者数：2,144人（延べ利用者数）		
	荒見苑生きがいづくり事業	交付対象事業	高齢者の社会参加と生きがいづくりのため、荒見苑において、七夕まつりや草花教室など各種教室を開催した。			6教室・255人（延べ参加者数）		
	デマンド乗合タクシー（のってこタクシー）運行事業	交付対象事業 関連事業	公共交通サービスの充実のため、デマンド乗合タクシーを運行した。			デマンド乗合タクシー運行利用実績：8,159人		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 久御山町

	健康づくり推進事業	交付対象事業	健康づくりと食育を一体的に推進していくため、平成26年3月に策定した「第2次健康くみやま21・久御山町食育推進計画」の中間評価を実施した。	健康づくり推進協議会：4回開催 食育プロジェクトチーム会議：4回開催 食育ワーキングチーム会議：5回開催 町民アンケート、パブリックコメントの実施 成果品、概要版の作成：1,000部
	公共交通推進事業 【地域公共交通網形成計画策定】	交付対象事業	住民にとって安全で快適に利用できるバス交通の充実を図るため、体系的な町内公共交通網の構築をめざし、地域公共交通協議会を開催し、「地域公共交通網形成計画」を策定した。	地域公共交通協議会の開催：協議会3回、部会5回
	子育て支援センター事業	関連事業	安心して子育てができる環境づくりや支援を行うため、子育て支援センターにおいて、つどいの広場事業（あいあいサロン・みるくサロン）をはじめ、相談事業や子育てサークルの育成のほか、ファミリーサポート事業など子育て支援を総合的・計画的に推進した。	あいあいサロン利用者：4,532人（延べ利用者数） 親子ひろば利用者：月2回・80人（延べ利用者数） みるくサロン利用者：週1回・702人（延べ利用者数） つどいの広場：月2回・72人（延べ人数） 異世代交流：7回・159人（延べ人数） 相談件数：39件 ファミリーサポート事業利用：36件 10周年記念事業：44人
	いきがい大学実施事業	関連事業	シニア世代が充実した人生を送るため、社会情勢など幅広く学習する「いきがい大学」を実施した。	いきがい大学参加者数：2,040人（延べ参加者数）
	公共交通推進事業 【バス交通関連経費】	関連事業	70歳以上の高齢者に対し高齢者専用バス回数券等の購入助成を行った。	高齢者専用バス回数券等購入助成金交付者数：692人
	住民協働事業	シニアクラブ連合会支援事業	交付対象事業	高齢者が楽しく豊かに過ごすため、シニアクラブの自主的な活動に対して補助を行った。
老人福祉センター老人講座・サークル等育成事業		交付対象事業	高齢者の生きがいがづくりの活動を支援するため、各種サークルの育成や活動に対する助成を行った。	補助総額：798千円
くみやまマラソン大会支援事業		交付対象事業	住民の健康増進や交流を深めるため、マラソン大会に対して助成を行った。	補助総額：1,000千円
町民運動会等体育大会事業		交付対象事業	日ごろの練習の成果を試す場として、また、交流・親睦の機会を提供するため、小学生ドッジボール大会やレクリエーション大会、スポーツに親しむ日等を実施した。	健康づくりスポーツレクリエーション祭：約200人（参加者数） スポーツに親しむ日：3回・約270人（延べ参加者数） 小学生ドッジボール大会：2回・517人（延べ参加者数） 小学生出前教室・講習会：10回・291人（延べ参加者数）
男女共同参画社会推進事業		関連事業	男女平等と共同参画社会の実現のため、「男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画セミナーやフォーラムの開催、女性のための相談事業のほか、自主的に男女共同参画に取り組む地域組織やグループの活動に対して支援を行った。	男女共同参画セミナー：4回・227人（延べ参加者数） 男女共同参画フォーラム：1回・90人 女性のための相談の開設：月2回

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 久御山町

成果指標①	成果指標の目標数値	あいあいサロン利用者数：5,500人		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	4,532人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	積極的に事業は行っているが、こども園に行かれる家庭が増えるなど社会情勢の変化が考えられる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	各種教室等参加者数：290人 《荒見苑生きがいつくり事業》		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	255人	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	昨年度実績（239人）よりは増えている。目標設定が高かったと考えられる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	町民運動会参加者数：3,000人		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	台風により中止	
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)	天候によりやむなく中止となったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	あいあいサロン利用者数については、目標数値までいかなかったものの、積極的に事業の実施、周知を行うことができた。また、荒見苑生きがいつくり事業については、高齢者の社会参加と生きがいつくりのため各種教室を開催し、昨年度より参加者が増えた。 さらに、町民運動会の実施については、天候によりやむなく中止としたが、それ以外の事業は例年通り実施したとともに、子どもから高齢者まで今まで参加したことがなかった人も参加していただくことができた。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 久御山町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	子育て支援センター事業により、子育て支援を総合的・計画的に行うことができ、安心して子育てができる環境づくりの充実に努めた。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域公共交通網形成計画については、府からも協議会に参画していただき、広域的な視点を含め策定することができた。
	住民の自治意識を高める成果	高齢者の生きがいづくりの活動を支援するため、各種サークルの育成や活動に対して助成を行い、高齢者が楽しく豊かに過ごす環境の充実につながった。
	リーディング・モデル成果	デマンド乗合タクシーを運行し、円滑な町内間移動や路線バスとの連携を図ることで、公共交通サービスの充実につながった。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	本町では、近隣でもあまり例のない特色のある町民運動会を開催しており、平成30年度は天候によりやむなく中止としたが、他の事業は例年通り実施し、住民間の交流・親睦を図ることができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。